

第7回東京都中学生春季陸上競技会 競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項によって実施する。

2 受付について

- (1) 競技者受付は正面スタンド入口脇の競技者インフォメーション(T I C)にて行う。受付の際には、ナンバーカード、プログラムを配付する。
- (2) プログラムに記載ミス(氏名、所属等)があった場合には8時30分までにT I Cに申し出る。記録確定後の訂正(記録証の訂正を含む)には、一切応じない。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。

3 練習について

- (1) 練習・ウォーミングアップは軟式野球場でおこなうことができる。また、次に示す時間帯に限り駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(以後、「駒沢競技場」とする。)のバックストレートにて練習をおこなうことができる。

第1日	8:00~8:30	ハードル練習	4・5・6レーン 中学女子100mH(四種競技を含む) 7・8レーン 中学男子四種競技110mH
	8:30~9:00	スタート練習	4・5・6・7・8レーン
第2日	8:00~8:30	ハードル練習	6・7・8レーン 中学男子110mH
	8:30~9:00	スタート練習	4・5・6・7・8レーン

*両日ともに1・2レーンは日本GPシリーズプレミア「TOKYO Combines Events Meet 2018」のウォーミングアップに用いるため、中学生競技者は立ち入らないこと。

*ウォーミングアップは必ず軟式野球場でおこない、その上でスパイクを着用する練習のみ上述の時間内に駒沢競技場内でおこなうこと。

- (2) 軟式野球場には練習の用に供するハードルを設置する。
- (3) フィールド種目の練習は、軟式野球場における以外に招集を受けて競技実施場所に移動してからおこなうことができるが、すべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内でおこなうこと。
- (4) 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内でおこなうこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (5) 競技会において練習中の事故が多発しています。事故防止のため下記の点に注意すること。
 - (1) 逆走しない。
 - (2) 走り終わってすぐに左右に曲がらない。後方を確認してから8レーンの側から出る。
 - (3) 走路上で立ち止まらない。
 - (4) 走路を横切るときは左右を確認する。
 - (5) お互いに譲り合って練習する。

4 招集について

- (1) 招集所は、スタート地点脇のダッグアウト内に設ける。
- (2) 各種目の招集の時刻は、プログラム記載の競技日程に従うこと。
- (3) 四種競技の競技者は、第1種目から第4種目まで全て招集所に集合して招集を受けること。
- (4) 招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、同時に2種目出場するものは、事前にその旨を競技者係及びフィールド審判員に申し出て競技に参加すること。

- (5) リレーのオーダー用紙は**第1組の招集完了時刻の60分前まで**に競技者係（招集所）に提出すること。（オーダー用紙は招集所に用意する。）
- (6) 招集に遅れた者は失格になる。時刻を厳守すること。

5 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者が胸と背部用に2枚配付する。
- (2) ナンバーカードはそのままの大きさを胸と背に確実に固定すること。跳躍競技に出場する競技者は胸または背のどちらか一方でかまいません。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバーを貸与するので、パンツの右側の上部、やや後ろにつけること。（リレー競技の場合は第4走者だけ腰ナンバーを使用する。）なお、腰ナンバーは競技終了後その都度、フィニッシュ地点付近で競技役員に返却すること。

6 競技について

- (1) 本競技場は全天候舗装のため、スパイクについては競技規則第143条を参照のこと。
- (2) トラック競技のレーン順、及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- (3) レーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。
- (4) 中学女子800mのスタートはオープンレーンでおこなう。
- (5) ハードル競技は以下の規格によりおこなう。

種目	スタート～第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
中学男子110mH	13.72m	0.914m	9.14m	10台	14.02m
中学女子100mH	13.00m	0.762m	8.00m	10台	15.00m

- (6) リレーにおける第1, 第2, 第3走者はバトンパス完了後も自分のレーン内にとどまること。
- (7) リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース後必ず各チームで外すこと。
- (8) 四種競技の走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。（ただし、天候などの状況により変更することがある。）

種別	練習	1	2	3	4	5	
中学男子	1m25 1m55	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後3cm刻みとする。
中学女子	1m05 1m35	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以後3cm刻みとする。

- (9) 走幅跳で使用するマークは主催者で用意する。
- (10) 競技で使用する器具は競技場備え付けのものに限る。
- (11) 走幅跳、砲丸投の試技は3回とする。
- (12) 砲丸は次の規格を用いる。
 中学男子砲丸投 5.000kg 中学男子四種競技砲丸投 4.000kg
 中学女子砲丸投・中学女子四種競技 2.721kg

7 その他

- (1) 競技中において、競技場内のスタンド下ダッグアウトからの助言（指導）は禁止する。フィールド競技中は、主催者で指定したコーチングエリア内から助言（指導）をおこなうこと。
- (2) 競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠すこと。
- (3) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (4) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。

- (5) ゴミは必ず自宅まで持ち帰ること。(競技場及び周辺、駅などに捨てていかない)
- (6) 届けられた遺失物については、T I Cで保管する。保管期間は4月22日競技会終了時までとする。それ以降は駒沢オリンピック公園が管理する。
- (7) 記録証は1部300円で発行する。希望者はT I Cに申し出ること。

当大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。
競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。
<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

